

店頭FX



メリット と リスク

2012年4月1日 版

◆◇目次◇◆

[1]店頭FXの活用例 ～外貨預金替わりの活用例～ - - - - P2

[2]運用結果 ～運用結果の比較 店頭FXのメリット①～ - - - - P3

～運用結果の比較 店頭FXのメリット②～ - - - - P4

[3]店頭FXのリスク① ～レバレッジによるリスク～ - - - - P5

[4]店頭FXのリスク② ～投資金額以上の損失発生リスク～ - - - - P6-7

[5]リスク管理 ～カブドットコム証券のリスク管理追求型サービス～ - - - - P8-9

制作協力:FXプライム株式会社

ご投資に関わる手数料およびリスクについて

以下はご投資に関わる重要事項です。ご確認ください。

●当資料は、資産運用の参考となる情報提供や、当社サービスや商品のご紹介/勧誘を 目的としています。お取引の際は、**約款・規定集**(<http://kabu.com/service/clauses.asp>)、契約締結前交付書面、

お取扱商品の重要事項の説明(<http://kabu.com/company/policy/inducement.asp>)等を良くお読みいただき、商品特性やリスク及び**お取引ルール**(<http://kabu.com/service/rule.asp>)等を良くご理解の上、銘柄選択、投資時期、投資スタイル等、投資の最終決定はご自身のご判断とご責任で 行ってください。

●証券投資は、価格の変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。

●自動売買を含むすべてのご注文は、必ず約定するものではありません。

●各商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料等が必要です。

詳しくは**当社の手数料ご案内ページ**(<http://kabu.com/cost>)等をご参照ください。

●店頭FXは、取引金額がお客様が預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額となっております。投資額以上の損失が生じる可能性があります。

また、店頭FXは元本や利益を保証するものではなく、為替変動リスクや金利変動等のリスクを伴います。本取引において当社が提示する売値と買値の間には差額があります。

<証拠金(1万通貨):コース、通貨ペアにより25,000円~1,000,000円

>手数料:無料(0円)>

●ご意見・苦情について(当社以外の窓口)特定非営利活動法人

→証券・金融商品あっせん相談センター 電話:0120-64-5005

●掲載情報は2012年4月1日現在のものです。

詳細および最新情報は**当社ホームページ**(<http://kabu.com>)にてご確認ください。

カブドットコム証券株式会社

金融商品取引業者登録:関東財務局長(金商)第61号

銀行代理業許可:関東財務局長(銀代)第8号

加入協会:日本証券業協会、金融先物取引業協会

1 店頭FXの活用例

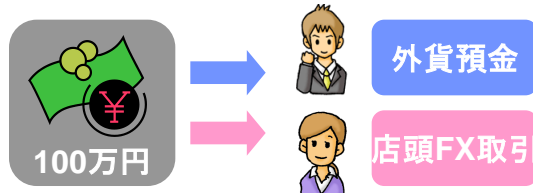
Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All right reserved.

■外貨預金代わりにの活用例



外貨預金よりも難しそうなイメージがある店頭FX。実は運用のしかた一つで、外貨預金と同じような運用ができるうえ、取引コストも安く投資効率が良い一面が。さっそく具体例を見てみましょう。

まず手元資金として100万円持っていたとします。この100万円をコウタロウ君には外貨預金で、サチコさんには店頭FXで運用してもらいます。



外貨預金で利益が出た場合

(当初1ドル=100円と仮定)
手元資金100万円全額を使って1万ドル(100万円相当)を購入しました。



1ヶ月後

1ドル=105円の円安ドル高になったので、1万ドルを売却し105万円を受け取りました。

外貨預金で運用した結果

1. 為替差損益

ドルを安く(1ドル=100円で)買って、高く(1ドル=105円で)売ることができたので、
1万ドル×(105円-100円)=5万円の利益を得ることができました。

2. 金利益

運用した期間のドル金利を受け取りました。



店頭FX取引で利益が出た場合

(当初1ドル=100円と仮定)
手元資金100万円のうち、10万円だけを証拠金として預入れ、1万ドル(100万円相当)を購入しました。
※100万円相当のドルを10万円で運用しているのので、レバレッジは10倍(100万円÷10万円=10倍)になります。



1ヶ月後

1ドル=105円の円安ドル高になったので、1万ドルを売却しました。

店頭FXで運用した結果

1. 為替差損益

ドルを安く(1ドル=100円で)買って、高く(1ドル=105円で)売ることができたので、
1万ドル×(105円-100円)=5万円の利益を得ることができました。

2. 金利益

運用した期間のドル金利と円金利の差を受け取りました。
※一般に円金利がドル金利よりも高くなった場合は支払いになります。円金利がドル金利よりも低い状況でも支払いが生ずる場合があります。

注意 *反対に円高ドル安になると為替差損が発生します。*上記の損益には取引コストを含んでいません。

2 運用結果

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All right reserved.

■運用結果の比較 ～店頭FXのメリット①～

(1) 金利の受け取りについて

コウタロウ君は外貨預金のドル金利を受け取り、サチコさんはドル金利と円金利の差額分（スワップ金利）を受け取りました。



スワップポイントは、2ヶ国間通貨の金利差から発生する差額で、円金利が低いときに、円金利より高い金利の通貨を買う場合は受け取り、売る場合は支払います。ただし、外貨金利が円金利より高い状態で、外貨買い/円売りを行った場合でも、クレジットの状況により支払いが生ずる場合があります。

いずれにしても、運用を始める前には、その都度どちらの方が有利なのか比較・検討しておくことが重要です。

(2) 外貨の売買による損益について

二人とも、ドルを購入したレートと売却したレートとの差によって見事、5万円の利益を出すことができました。



あれ？受け取る金利がほぼ同じだったとすると、外貨預金でも店頭FXでも利益は殆ど変わらないですね。



私も最初は殆ど同じだと思ったけど、大きな違いを二つ見つけたわ！

まず一つ目は、店頭FXの場合、ドルを買うために10万円しか使っていないことね。最初に手元資金が100万円あって、そのうち証拠金として10万円しか使わなかったから、手元に90万円が残りました。この90万円を、例えば円の定期預金とか個人国債とかで運用したら、その分の金利が更に受け取れる！店頭FXの説明でよく言われている「レバレッジで効率的に資産運用」というのは、こういうことなのね。



店頭FX取引は10万円あれば取引できる



外貨預金は100万円ないと取引できない

■運用結果の比較 ～店頭FXのメリット②～

もう一つの大きな違いは、店頭FXの取引コスト（含、手数料）の安さですね。サチコさんとコウタロウ君の運用例では取引コストを考慮に入れていなかったけれど、実際に外貨預金や店頭FX取引をすると取引コストがかかります。

外貨預金の取引コスト

→ (例) **2万円**

※為替手数料1ドルにつき1円の場合の往復手数料。手数料は各社により異なります。

外貨預金では、片道の取引コストが1ドルにつき1円かかるケースもあるわね。そうすると、1万ドル購入時の取引コストは1万ドル×1円=1万円。ドルを売却する際にも同じく1万円のコストがかかるから、合計で2万円のコストがかかります。

店頭FX取引の取引コスト → **400円**

※カブドットコム証券でのお取引の場合の往復のコスト。(売買手数料0円+米ドル円の売値と買値のスプレッド2銭)

店頭FX取引では、往復の取引コストが1ドルにつき4銭（スプレッド2銭×2）なので、1万ドルの取引では400円しかかかりませんでした。この例では、取引コストで19,600円も差がでますね！！

※米ドル/円の通常時のスプレッドは「1～2銭」です。流動性が著しく低下する時間帯や経済指標発表時等、相場状況によってはスプレッドが拡大する可能性があります。



その通りですね、サチコさん。店頭FXのメリットをまとめてみると、『店頭FXの場合、余った手元資金を別の運用にまわすことが可能。』定期預金や個人国債の購入に充てた場合、そこから得られる金利収益分が「外貨預金の場合には得ることができない」店頭FXのメリット、と言えますね。更に、店頭FXの取引コスト（含、手数料）は外貨預金よりも格段に安い、という点も店頭FXの魅力ですね。



かなり店頭FXを身近に感じられるようになってきました！店頭FXは短期的な運用手段と思っていましたが、外貨預金のような長期的な運用も可能だったのですね。自分の投資スタイルに合わせた運用ができるというのは、確かに魅力的ですね。



それでは次に、みなさんが漠然と不安に感じている店頭FXのリスクについて、いくつかピックアップしてご説明しましょう。

3 店頭FXのリスク①

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All right reserved.

■レバレッジによるリスク



まずは、店頭FXの特徴の一つである「レバレッジ」から生じるリスクを考えてみましょう。



えーっと、「活用例」を思い出してみますね。1ドル=100円から1ドル=105円になったため、外貨預金でも店頭FXでも利益を出すことができました。でも逆に1ドル=95円になってしまった場合は2人とも5万円の損が出て・・・あれ？リスクは外貨預金も店頭FXも変わらないようにみえます・・・。



サチコさん、じっくり考えてみましょう。先程の例では、コウタロウ君は100万円を使い外貨預金を、サチコさんは10万円だけを証拠金として使い、店頭FX取引をしましたね。では、店頭FXで手元資金の100万円全額を証拠金として使い、取引をしていたらどうだったでしょう。



100万円でレバレッジ10倍だと・・・、1,000万円分の取引ができる。ということは、10万ドルを購入できた、ということになりますね。そして、1ドル=100円から、1ドル=95円へと「5円の円高」になったら・・・、50万円も損が出てしまいますね！外貨預金の場合と比べて10倍の損失額になってしまうわ。



$\$1 = ¥100 \rightarrow \$1 = ¥95$



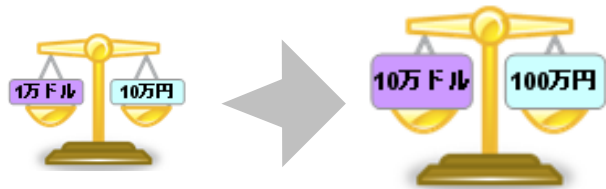
50万円の損失



そうですね。外貨預金で使用する金額と同じ額の手元資金を使って店頭FX取引を行うと、レバレッジをかけた分だけリスクが大きくなります。「外貨預金代わりに活用例」の中で、店頭FX取引のリスクを外貨預金の場合と同程度に抑えられた理由は、「店頭FX取引に使用する資金を、外貨預金の場合の10分の1に抑えて外貨預金と同じ額のドルを運用していたから」なのです。



なるほど。使用する資金を10分の1にして、レバレッジを10倍にした。だから、全体的に外貨預金と同程度のリスクになった、ということだったのですね。店頭FXのリスクって、どうやっても管理ができない位大きなものだと思ってたわ。



リスクが大きくなる

4 店頭FXのリスク②

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All right reserved.

■投資金額以上の損失発生リスク



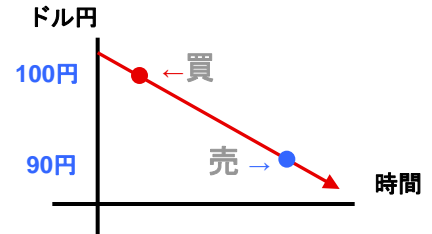
「投資金額以上の損失発生リスク」も、店頭FXのリスクとして挙げられます。カブドットコム証券では、このような事態を防ぐ「自動ロスカット」の仕組みがありますが、為替相場の状況次第では発生することが有り得ますので、注意が必要です。



え、最初に預けた証拠金の金額以上に損をすることがある、ということですか！？
どうしてそのようなリスクがあるのですか？
そのような事態になることを避ける方法はないのですか？



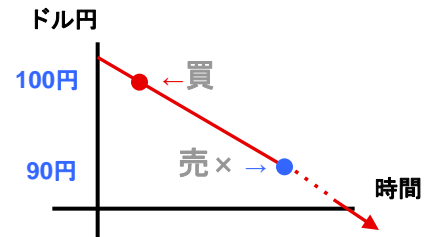
まず、店頭FXでは外貨を買ったり売ったりすることで損益が発生します。つまり、為替レートの変動によって損をするリスクがありますね。
例えば、コウタロウ君が1ドル=100円の時に10万円の証拠金で1万ドルを買ったとしましょう。
その後、ドル安円高が進んで1ドル=90円になってしまいました。そうすると、コウタロウ君の証拠金は・・・。



1万ドル×(90円-100円) = ▲10万円の損だから・・・。
最初に預けておいた証拠金の10万円が全部なくなってしまいます。
(※注意：手数料等コストは考慮していません。)



そうですね。ちょうど証拠金がゼロになってしまいますね。では、1ドル=90円の時にドルを売却することができず、もっとドル安円高が進んだらどうなるでしょう。



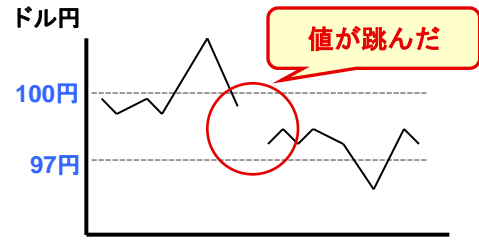
損失額が、最初に預けていた証拠金よりも大きくなって、マイナスになってしまいます。そうすると、店頭FXの取引をしている会社に追加でお金を入金しないとイケなくなってしまいます・・・でも、普通はきちんとリスク管理をしていて、マイナスになる前にドルを売却してしまいますよね。「1ドル=90円の時にドルを売却することができない」という状況は起こり得るのですか？

4 店頭FXのリスク②

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All right reserved.



為替相場が急激に変動した場合に起こる可能性があります。相場が急激に変動すると、大きく「値が跳ぶ」ことがあるからです。

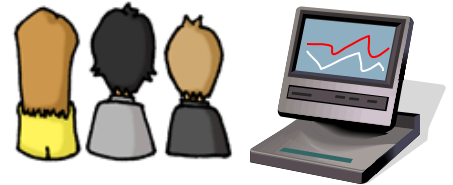


「値が跳ぶ」ってどういうことですか？



通常時の為替市場では、外貨を売りたい人と買いたい人が、それぞれ数え切れない程取引に参加しています。無数の取引参加者がいると、例えば「1ドル=92円10銭で取引された次に、1ドル=92円09銭で取引される」というように、非常に狭い値幅で為替レートは変動していきます。

しかし、何かすごく大きなニュースが出て、殆どの取引参加者が「ドルを売りたい」と考えたとしたら・・・



ドルを買う人が殆どいない、という状況ですね。



そう。みんなドルを売りたい。でもドルを買ってくれる人がいない。そのような場合、例えば1ドル=92円10銭で取引が成立した後、「1ドル=92円で売ります！」と言っても誰も買ってくれない。「1ドル=91円で売ります！」と言ってもまだ買ってくれない。「1ドル=89円で売ります！」と言った時に、ようやく誰かがドルを買ってくれた。

このようなことが起こり得るのです。この時、為替市場で成立した取引のレートを見てみると、1ドル=92円10銭での取引の次に、一瞬にして1ドル=89円にまで「値が跳んで」しまい、その間のレートでは取引されていないこととなります。

コウタロウ君が1ドル=90円でドルを売りたいと考えても売ることができない、という状況は起こり得る訳ですね。

特に「値が跳ぶ」リスクが高い一つのケースとして、週末に何か大きなニュースが出た場合が挙げられます。金曜日に92円10銭で取引が終了したのに、週末のニュースを受けて翌週初の取引が89円で開始される、というようなケースが考えられます。



「値が跳んでしまう」リスクってこわいですね。そういえば、株や土地などの取引でも、「売りたいのに買ってくれる人がいない」「買いたいのに売ってくれる人がいない」というようなことが起こり得る、と聞いたことがあります。「値が跳んで」損が膨らむリスクは、「店頭FX特有」という訳ではないようですね。

でも、店頭FX取引における「投資金額以上の損失発生リスク」はどうか避けたいです。こうしたリスクを管理する方法があれば教えてください。

5 リスク管理

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All right reserved.

■カブドットコム証券のリスク管理追求型サービス

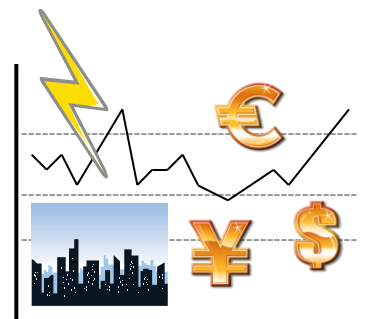


為替の「相場」を相手とした取引ですので、投資金額以上の損失発生リスクを完全に回避することはできません。

相場を揺るがすような事件や不測の事故等がいつ発生するかは分かりませんね。このため、健全なリスク管理を徹底し、想定外の損失拡大を未然に防ぐ工夫が必要です。

「健全なリスク管理手法」の例として

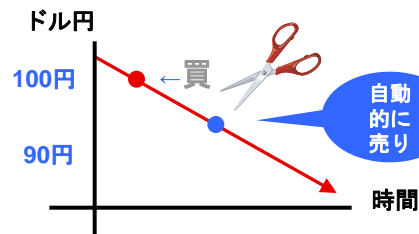
- [1]. 手元資金を全額費やすなどして、ご自身の体力以上の取引を行うようなことはしない。
- [2]. お取引をする場合、予めご自身の体力で許容できる損失額を想定しておき、その損失額に達する水準に「損切り」注文を入れておく。
- [3]. ご自身の投資スタイルに見合った「自動ロスカットルール」を採用している取引会社を選ぶ。
などが挙げられます。



「自動ロスカットルール」とは何ですか？



多くの店頭FXの取扱会社は、「お客様の損失拡大防止」のためにリスク管理制度を採っています。リスク管理制度の一つとして、「自動損切り制度」が挙げられます。この制度は、「損失額がある一定の水準に達した時点で、強制的に損切りしてしまう」というものです。



代表的な「自動ロスカットルール」として、2種類あります。

ひとつは、多くの店頭FX取引会社が採用している、「純資産額が、一定の水準まで減ってしまった段階で強制的に損切りしてしまう」というものです。

例えば、コウタロウ君がある店頭FX取引会社に100万円預け、そのうち40万円を取引証拠金として使ってドルを買ったとします。

コウタロウ君がその後実際にドルを売却しない限り損益は確定しませんが、ドル円の為替レートの変動によって「評価」損益（未実現損益）は変わっていきますね。

※この時、預け入れている金額と評価損益金額の合計を「純資産額」といいます。

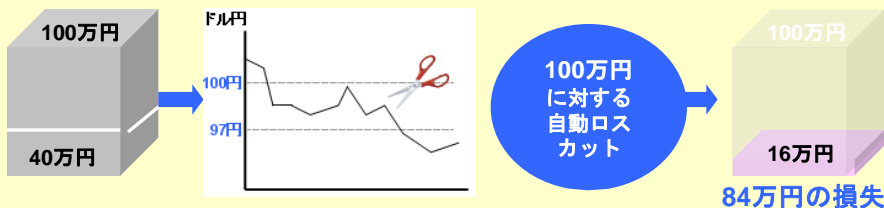
5 リスク管理

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All right reserved.

コウタロウ君の選んだ店頭FX取引会社では、コウタロウ君の純資産額（預け入れ金額＋評価損益）を一定時間置きに計算し、純資産額が「取引に必要な証拠金額の40%（40万円×40%＝16万円）」に達した時点で、強制的に損切りを行います。

A社のロスカット

100万円のうち40万円を使ってドル買い



つまり、84万円損した時点で取引が終了し、コウタロウ君の手元には16万円の証拠金が残る、という訳です。

（注意：取引手数料等は考慮していません。）

長期的な運用で、最初から「評価損が膨らんでも、充分なお金を預けている限り外貨を自動的に保有し続けたい」と考えて投資したのであればこの制度は便利ですが、損失額は大きくなりますね。

上記の例では、当初の取引に必要な証拠金額が40万円だったのに、84万円程度もの損失が出てしまう、ということになります。

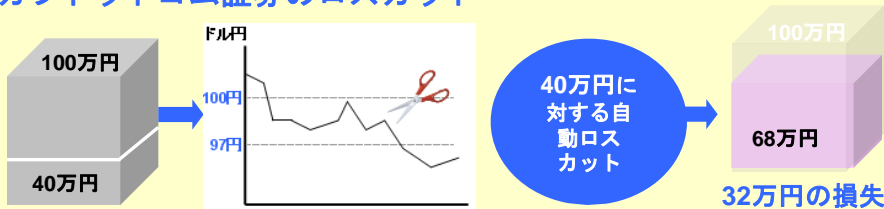
一方で、カブドットコム証券が採用している自動ロスカットルールは、「取引に使用した証拠金額が一定割合（今回の例では8割）減った時点で強制的に損切り」が行われます。

※ご自身で「損切り」注文を入れていただくことがまず第一ですが、万が一「損切り」注文を入れられていない場合でも上記の条件で強制的に損切りを実行する制度です。カブドットコム証券の自動ロスカットルールの詳細につきましては、お取引ルール <http://kabu.com/service/rule29.asp> をご参照ください。

例えば、コウタロウ君がカブドットコム証券に証拠金100万円を差入れ、そのうち40万円を使ってドルを買ったとします。その後円高が進んだ場合、取引に使った証拠金額（40万円）が8割減った時点で強制的に損切りされます。

カブドットコム証券のロスカット

100万円のうち40万円を使ってドル買い



つまり、32万円損した時点で取引が終了します。

ひとつ目の例と異なり、コウタロウ君の手元には68万円程度の証拠金が残りますね。

カブドットコム証券の、ポジション毎の自動ロスカットルールは、お客様の損失拡大防止を目的とする、リスク管理を重視した制度と言えるかもしれませんね。



なるほど！

「投資」にはどのようなものでもリスクがある。「投資を行う場合には、リスクを理解し、きちんとリスク管理をすることが大切」ということですね。

店頭FXに対する漠然とした不安も薄れてきました！

カブドットコム証券の F X の特長

Copyright© 2001-2011 kabu.com Securities Co., Ltd. All right reserved.

ネット証券屈指の

低コスト！

安心！

店頭FX取引手数料は

無料！

低コスト 店頭FX手数料0円

主要ネット証券
屈指の低コスト

主要ネット証券最低水準のスプレッド

ネット証券最狭スプレッド

	手数料	主要通貨ペアのスプレッド(通常時)				
		米ドル/円	ユーロ/円	ポンド/円	豪ドル/円	ランド/円
カブドットコム	無料	1.8銭	2.8銭	4.0銭	2.8銭	3.0銭
A証券	無料	2銭	4銭	6銭	4銭	5銭
E証券	無料	1.9銭	4.0銭	6.5銭	3.9銭	4.8銭
O証券	無料	2銭	4銭	6銭	4銭	6銭

※平成24年3月26日現在、各社のホームページを参照し当社作成しました。

※スプレッドとはお客さまに提示される買値レートと売値レートの価格差(幅)です。

※流動性が著しく低下する時間帯や経済指標発表時等、相場状況によってはスプレッドが拡大する可能性があります。

ネット証券/店頭FX専業会社で

最上位の格付け

カブドットコム証券の格付け

信託保全

格付機関	格付対象	格付	見直し	更新日
日本格付研究所	長期優先債務格付	A+(シングルAプラス)	安定的	2011年9月9日
	短期優先債務格付	J-1		2011年9月9日